

平成 25 年度 滋賀県がん診療連携協議会

第 3 回 がん登録推進部会 議事概要

日 時： 平成 26 年（2014 年）2 月 7 日（金） 16：00 から 17：30

場 所： 滋賀県立成人病センター 新館 11 階会議室

出席者： 目片英治、太田悦子（滋賀医科大学医学部附属病院）

森明子（大津赤十字病院）

龍見謙太郎、寺村清一郎（公立甲賀病院）

寺村康史、志井千明（彦根市立病院）

東出俊一、大橋依子（市立長浜病院）

木原明生、藤村志乃芙、森山都子（大津市民病院）

福山歩美（草津総合病院）

福森亮介（済生会滋賀県病院）

大西真（近江八幡市立総合医療センター）

楠井隆、吉田孝子（長浜赤十字病院）

居松健治（東近江総合医療センター）

水田和彦、田中一史、谷本圭（滋賀県立成人病センター）

奥井貴子（滋賀県健康福祉部健康長寿課）

欠席者： 土井隆一郎（大津赤十字病院）

土屋邦之（近江八幡市立総合医療センター）

（敬称略）

討議内容

1. 2012 年全国集計へのデータ提出状況

- ・がん診療連携拠点病院：昨年 12 月末提出不切、6 病院より提出済
- ・がん診療連携支援病院：2 月末提出不切、6 病院中 5 病院が提出予定

2. 2012 年全国集計データ提出前の相互チェック結果について【資料①】

- ・データ収集 11/21～11/27
- ・データチェック 11/29～12/5
- ・提出前データ収集件数 8,278 件（参加 11 病院）
- ・コメント付与 1,350 件
- ・コメント詳細は別紙資料①
- ・今年から支援病院を含む実施となり対象データ件数が増えたが、実務者の感想としては、相互チェックの意義は大きいことは共通している。標準登録項目の理解の標準化を促進する機会としても意義が深い。
- ・この結果については去る 1 月 28 日のがん登録実務者相談会において、実務者間で確認済。
- ・臨床病期の TNM 分類の不明については、病院間格差があるかどうか等の検証を行い、主治医の判断基準（診療録への記載基準）を標準化していくべきである。→ 来年度事業として取組む。

3. 新がん診療連携拠点病院指定要件について

- ・ 1月10日付で厚生労働省健康局長より通知された新指針について、がん登録に関連する項目を抜粋し、変更点を確認した。
- ・ 地域がん診療連携拠点病院の指定要件では「院内がん登録数が年間500件以上」が明記された。
- ・ 都道府県がん診療拠点病院の指定要件では「県内の院内がん登録データの分析、評価等を行うこと」や「がん登録指導者研修修了者の配置」について明記された。今まで国立がん研究センターが行ってきた実務者研修等を、今後は都道府県拠点病院が主体的に担わなければならない。

4. 全国集計データ提出後の滋賀県におけるデータ収集について

- ・ 前回の部会では、全国集計データの提出から集計結果公表およびデータフィードバックまでの期間が短くなり、県の健康推進課にデータが還元されていることから、提出後データ収集を止めて、これ活用することを検討する予定であった。しかし、還元されたデータは集計値であり、個別に新たな視点（項目）での分析には適さないものであった。
- ・ 上記により、支援病院を含めて全国集計に提出したデータを収集してデータの分析評価を行う。
- ・ データ収集〆切は平成26年3月7日（金）とする。
- ・ 収集対象データは、がん診療連携拠点病院および支援病院の2012年全国集計提出データと、支援病院の2011年全国集計提出データとする。（拠点病院の2011年全国集計データは収集済）
- ・ 新しいがん診療連携拠点病院指定要件に従い、都道府県がん診療拠点病院として、成人病センターが、滋賀県内の院内がん登録情報を収集し、本部会やがん診療連携協議会でデータの分析、評価等を行っていく体制を整える。
- ・ データ収集に際して、依頼文を必要とされる病院があり、事務局が個別対応してきたが、部会における決定事項としての実施するものであり、特に必要ないと考え、依頼文は発行しない。
- ・ この情報収集は、昨年制定された「滋賀県がん対策の推進に関する条例」の第4条第2項や第19条に該当するものと考えられる。

5. がん登録情報の活用事例

＜DPC調査データからみた滋賀県のがん診療＞【資料②】

- ・ 滋賀県では「DPC対象病院≡がん診療連携拠点病院+支援病院+α」であり、主な治療状況が把握できる。
- ・ DPC調査データは、現在の院内がん登録よりも早いタイミングで集計結果が得られる。
- ・ DPC調査データは、入院毎にカウントしているため、がん罹患数とは異なる。
- ・ DPC調査データは、診断群ごとの集計であり、部位によって手術区分などが異なり、詳細な分析に適さない。（胃癌では、開腹手術と腹腔鏡手術が別の診断群となるが、大腸癌や肺癌では同じ診断群となる。）
- ・ DPC調査データは、再発治療も含んでいる。（院内がん登録は初回治療のみを登録している。）
- ・ 院内がん登録の情報活用においては、他から得られる情報も活用して比較分析することが重要と言える。

6. 地域がん登録からの報告

- ・ 地域がん登録における2010年、2011年診断例の医療機関別届出件数の概要を報告。このうち、がん診療連携拠点病院・支援病院の割合はおよそ8割であった。

- ・地域がん登録全国罹患集計（2009年、2010年）の結果報告。
- ・県内医療機関への予後情報還元の状態を報告。

	2007年度	2008年度	2011年度	2012-2013年度
滋賀県立成人病センター	442	146		609
市立長浜病院	248	22		328
大津赤十字病院			19	1430
滋賀医大附属病院				2113
長浜赤十字病院				617

7. 今年度事業のまとめ

月日	事業	開催場所
6月5日	第1回部会	成人病センター 新館11階会議室
6月20日	実務研修会①【放射線治療について】 参加者28名 講師：成人病センター 放射線治療科 山内 智香子先生	成人病センター 東館 講堂
7月1日 ～16日	拠点病院および支援病院における院内がん登録の状況調査	
7月18日	実務相談会① 参加者19名	大津赤十字病院 8階AB会議室
8月21日	実務研修会②【皮膚がんの診断と治療について】 参加者22名 講師：大津赤十字病院 形成外科 副部長 石河 利広先生	大津赤十字病院 8階AB会議室
9月13日	第2回部会	成人病センター 新館11階会議室
10月9日	実務相談会② 参加者20名	市立長浜病院 本館2階 講堂
11月25日 ～29日	2012診断分データ提出前収集および相互チェック 参加11病院 チェックデータ数8,278件	
11月29日	実務研修会③【脳腫瘍の診断と治療について】 参加者18名 講師：滋賀医大 脳神経外科 講師 深見 忠輝先生	滋賀医大 マヒメディカルセンター 2階
1月28日	実務相談会③ 参加者15名	公立甲賀病院 診療棟3階会議室1
2月7日	第3回部会	成人病センター 新館11階会議室
3月7日	2012診断分データ提出後収集	

- ・今年度より支援病院からも部会に参加いただき、意見交換が充実した。
- ・各病院でのデータがん登録情報の活用事例は今後も継続する。
- ・事業計画は、予定どおり実施することができた。
- ・部会としてのアクションプランの年度末評価は「A」とする。

8. 来年度事業計画の要旨

- ・ がん登録推進部会を3回（第1回5月、第2回9月、第3回2月）開催する。日程調整は来年度初め（4月）に行う。
- ・ がん登録実務研修会・相談会を年間各3回開催する。日程調整は来年度初め（4月）に行う。
- ・ がん登録対象症例の見つけ出し（ケースファインディング）について情報交換し、登録漏れをなくすよう努める。（部会の前に実務者間で十分に情報交換しておく必要がある。）
- ・ 全国集計提出データの事前相互チェックの結果を受けて、臨床病期のTNM分類の不明については、病院間格差があるかどうか等の検証を行い、主治医の判断基準（診療録への記載基準）を標準化できるよう取組む。
- ・ 県内の院内がん登録情報の分析・評価を行い、がん診療連携協議会へ報告する。

9. その他

がん登録等の推進に関する法案

参議院のホームページより国会決議された原案を確認することができるので情報提供した。

滋賀県がん対策の推進に関する条例について（健康長寿課より）

- ・ 平成25年12月27日付けで「滋賀県がん対策の推進に関する条例」が公布、施行された。
- ・ 滋賀県がん対策推進計画は、今年度第二期計画が進められているが、新しい条例では「基本理念」や「県、保健医療福祉関係者、患者・家族、県民、事業者の責務・役割」が定められており、行政的には計画よりも上位に位置付くものであり、今後のがん対策の根拠となるものである。

以上

資料①

全国集計提出前相互チェックの結果

提出前データ収集件数 8,278件 (参加 11病院)

主なコメント	合計	修正した	修正しなかった
部位の側性が空白	63	49	14
ステージ(治療前・UICC)およびcTNMは主治医に確認してください。	56	11	45
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療がいずれも2なら、ステージ(術後病理学的・UICC)および進展度(術後病理学的)は不要	35	35	
治療方針4で、症例区分2	31	26	5
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果4なら、ステージ(術後病理学的・UICC)・pTNM・進展度(術後病理学的)は不要	30	30	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療がいずれも2なら、ステージ(術後病理学的・UICC)・pTNM・進展度(術後病理学的)は不要	29	28	1
診断根拠1および病理組織標本由来1なら、病理診断名コード≠8000/3要確認	21	20	1
進展度(治療前)が空白	20	20	
治療方針3で、症例区分1?	19	19	
診断施設1治療方針1なら、症例区分は2	14	14	
上皮内癌で、外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果2?	13	10	3
診断施設1治療方針1、症例区分3?、診断日1あり?	13	12	
進展度(治療前)およびステージ(治療前・UICC)が空白	13	13	
進展度(治療前)および進展度(術後病理学的)は3	13	13	
診断名テキストは「胃角部小弯」ではなく詳細な部位(「C162」が正しければ「胃体部」)	13	13	
ステージ(術後病理学的・UICC)20で、外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果2?	12	12	
ステージ(治療前・UICC)・cTNM・ステージ(術後病理学的・UICC)・pTNMが空白	11	11	
ステージ(治療前・UICC)は10	11	9	2
ステージ(治療前・UICC)が空白	10	9	1
診断根拠2で、病理組織標本由来が3?	9	9	
診断根拠2で、病理組織標本由来が3?	9	9	
進展度(治療前)は3	9	9	
進展度(術後病理学的)は3	9	9	
診断名テキストは「胃角部」ではなく詳細な部位(「C162」が正しければ「胃体部」)	9	9	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が1で、診断根拠が2	7	7	
体腔鏡的治療1?(子宮頸部円錐切除術は、切除目的なら外科的治療扱い)	7	1	6
進展度不要	7	7	
診断名テキストは「胃角部大弯」ではなく詳細な部位(「C162」が正しければ「胃体部」)	7	7	
pT01で、組織診断名コード5桁目が3?	6	6	
上皮内癌で、外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果3?	6	6	
治療方針3で、症例区分1?	6	6	
症例区分4で、初回治療に登録あり	6	6	
その他	801	745	56
合計	1,325	1,190	134

資料①

コメント種別の集計

1. 不備・不足・空白

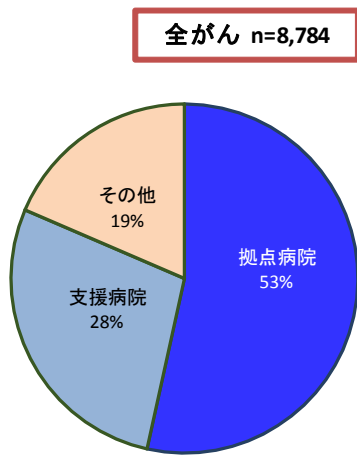
主な不備・不足・空白の種別	合計	修正した	修正しなかった
TNM	17	17	
TNM・ステージ・進展度	48	4	44
ステージ・進展度	80	78	2
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	2	2	
死亡日	1	1	
初回治療	2	2	
症例区分	2	2	
診断時都道府県コード	3	3	
診断日	2	2	
診断名テキスト	10	9	1
進展度	1	1	
生存最終確認日	3	3	
組織診断名コード	9	8	1
部位の側性	17	17	
予後調査方法	1	1	
予後調査結果および方法 ※今回の修正対象から除外	2,622	—	—
合計	2,820	150	48

2. 項目間の矛盾

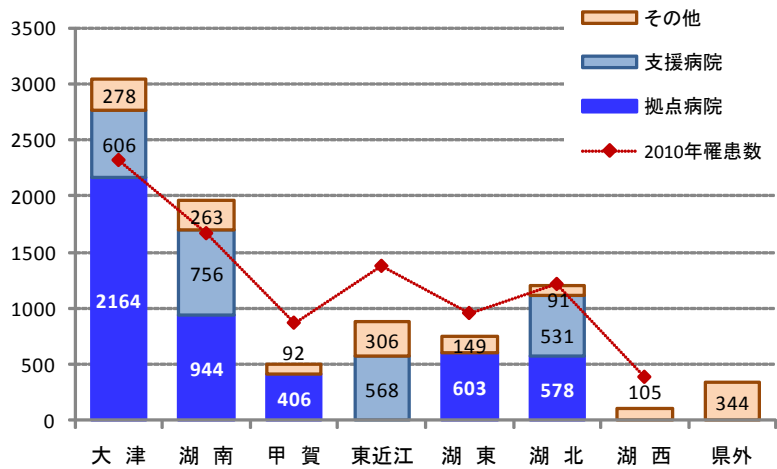
主な矛盾の種別	合計	修正した	修正しなかった
TNM & ステージ・進展度	8	8	
TNM & 組織診断名コード	1	1	
ステージ & 進展度	1	1	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療 & ステージ・進展度	68	68	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療 & 診断根拠	6	6	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果 & ステージ・進展度	4	4	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果 & 組織診断名コード	2	2	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果 & 病理組織標本由来	2		2
治療方針 & 初回治療	3	3	
治療方針 & 症例区分	44	43	1
症例区分 & 初回治療	4	4	
診断根拠 & 組織診断名テキスト	4	3	1
診断根拠 & 病理組織標本由来	13	13	
診断根拠 & 病理組織標本由来 & 組織診断名コード	4	3	1
診断施設 & 治療方針 & 症例区分	10	9	
組織診断名コード & 初回治療	1	1	
合計	175	169	5

資料②

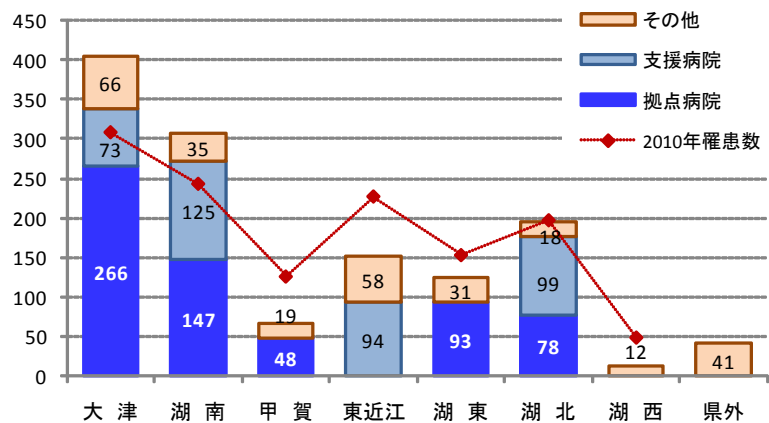
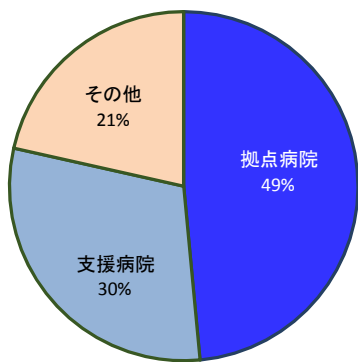
地域がん登録 2010年診断例の届出における
拠点病院・支援病院の割合
<2013年7月集計>



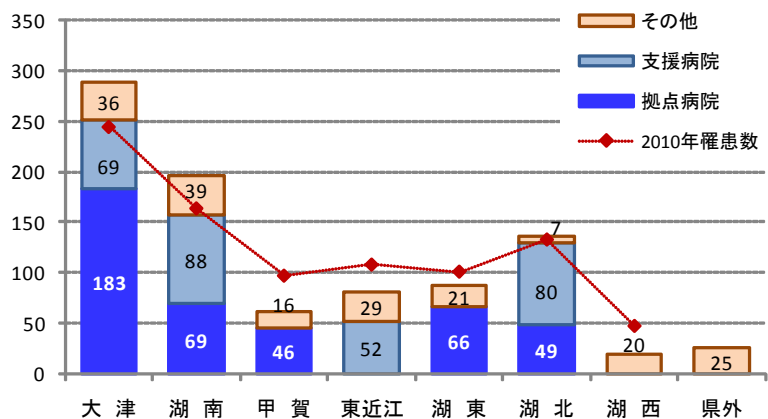
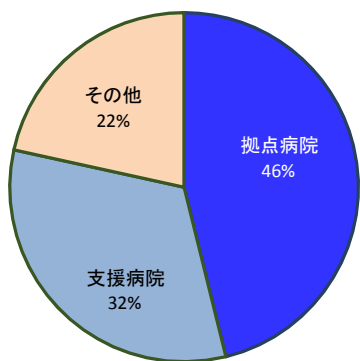
医療圏別_拠点病院・支援病院の診断治療件数
<2013年7月集計>



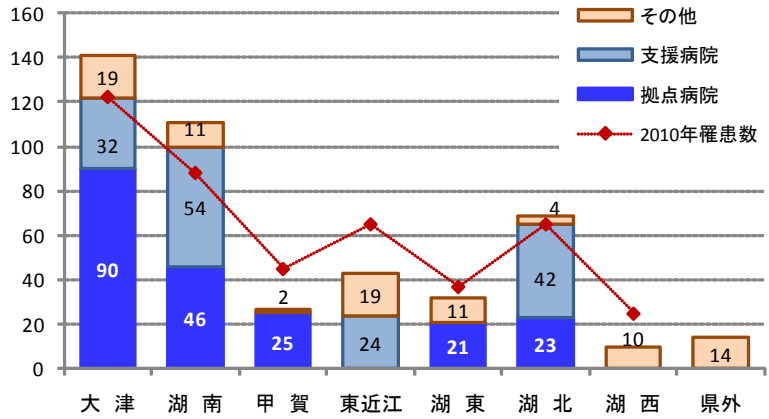
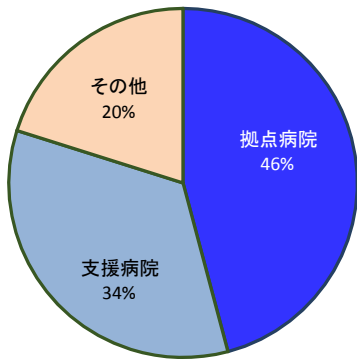
胃がん n=1,303



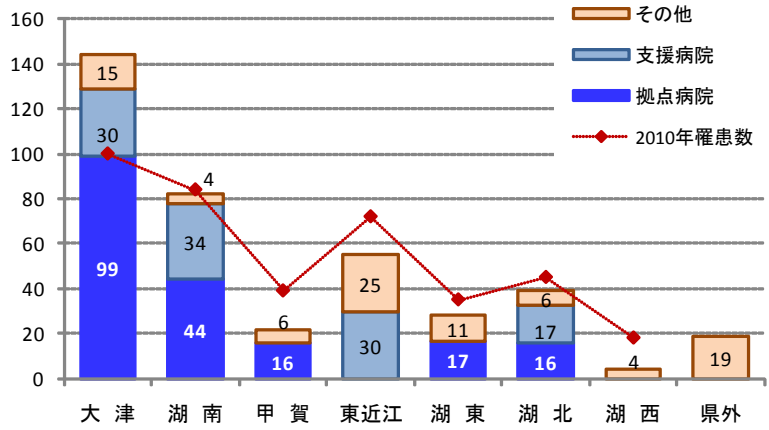
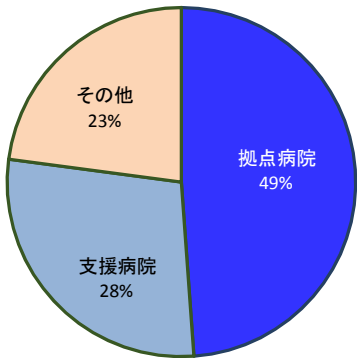
結腸がん n=895



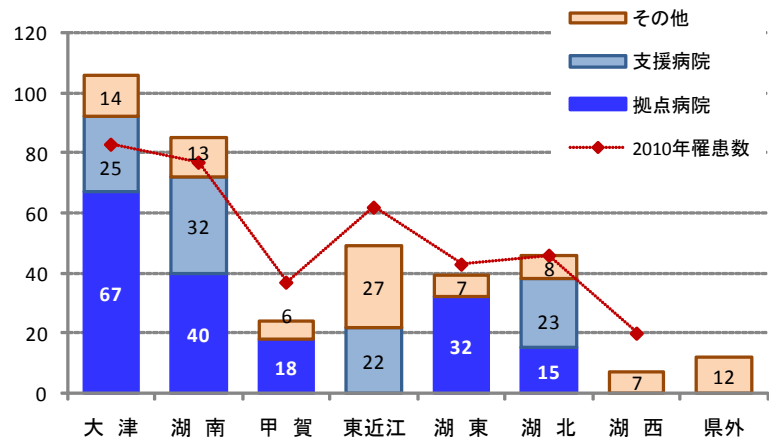
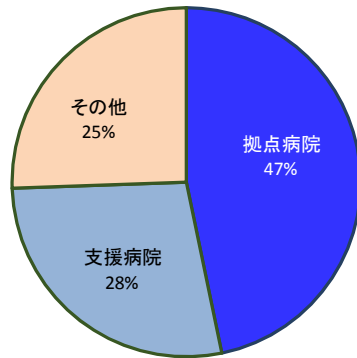
直腸がん n=447



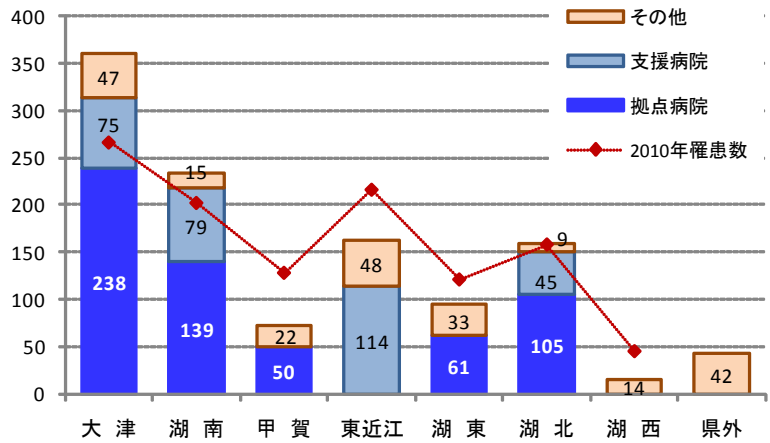
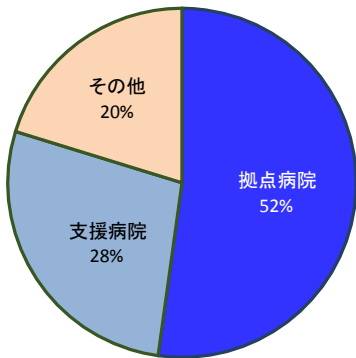
肝・肝内胆管がん n=393



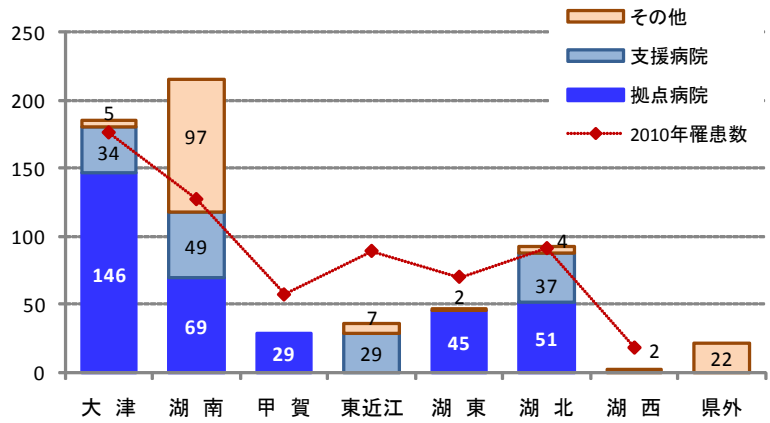
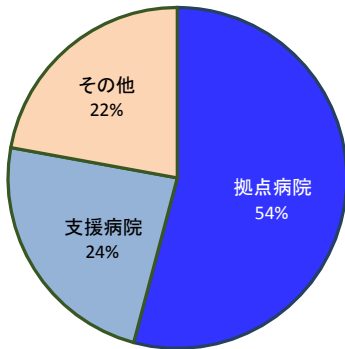
膵がん n=368



肺がん n=1,136



乳がん n=628



子宮がん n=406

